

<i>Open</i>		<i>Blind</i>
<h1>GWTニュース</h1>		
	発行：日本GWT協会 No.53 事務局：〒182-0025 東京都調布市多摩川1-29-1-1001 URL：http://日本グループワークトレーニング協会.com	日本GWT協会 イラスト 畠山ミユキ <i>Unknown</i>
<i>Hidden</i>		

## 第33回 日本GWT(グループワーク・トレーニング) 全国研修交流会 in 松本

「つながる・ひろがる・まなびの輪」～声かけひとつで広がるGWTの輪～



令和8年1月11日・12日の2日間「第33回日本GWT全国研修交流会 in 松本」を、長野県松本市立博物館で開催しました。今大会の開催に際し、会員の皆さんに「友達を一人誘って参加しよう」との呼びかけを受けて設定したテーマは“つながる・ひろがる・まなびの輪”です。これに応じて始まった大会初日、会場には50名の皆さんが集まりました。

車座(オープンスペース)になって迎えた「開会式」。「2026年を皆さんと学び合う全国研修交流会でスタートしましょう」と、三好理事長の挨拶で始まりました。続く「ウェルカムGWT」では、“GWT初心者には優しく、GWT愛好者には退屈させない深みを持たせた学びの場づくり”がねらいでした。三ガク(岳・学・楽)都の松本市の紹介を兼ね「あっち向いて・こっち向いて・どっち向いて」と「空席を埋めろ」のアイスブレイクで誘い&誘われることを通して、体と心をほぐしてもらいました。



初日最初の発表「中学校現場におけるGWTの実践と挑戦」(平林孝太さん)は、全校生徒350名あまりの中学校において、5年間にわたり全校あげてGWTに取り組んだ実践紹介でした。GWT協会非会員で、かつ当交流会初参加にして発表するという挑戦は、ダントツの関心度(参加者アンケート結果より)を得るものとなりました。

午後は、三好良子理事長による「〇〇〇」と理事会主催の「Switch Interview」の発表でした。参加者アンケートでは「全員がすっきり“納得”で終わらない場合もそこから何を学ぶかという事が大切」、「自己を知る新たな発見ができた」など、楽しくも新鮮な感触を得てそれぞれが学びを深めた様子が見られました。

2日目の午前は、「ステキな写真」(川内佐和子さん)／『「バーンガ」をGWTでやってみる」(木村真介さん)、「段々しりとり」(渡邊有利枝さん)／「実家はいつも温かい」(三上吉洋さん)を分科会形式で行い、午後は、「ジェンダーバイアスをあばく」(新井喜代加さん)の発表が行われました。異文化コミュニケーションゲーム「バーンガ」の紹介と体験では、自分の正しさを否定された葛藤から学びを得た参加者が多くいました。

また、財提供者の立場から“GWT体験1年生です”とコメントしながらも果敢にアドバイザー役に挑